

事務事業評価シート

(H.28)No.	1469	(H.27)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	新雇用創出事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	商工経済室	野口 泰弘	

会計区分	事業コード	362401
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	新雇用創出事業	
項 商工費	(小事業名)	
目 商工業振興費	新雇用創出事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3 活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	2 いきいきと働けるまちづくり
	施策	1 雇用創出
	小施策	
重点施策コード	1. 元気創造プロジェクト	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
次世代を担う若者にとって魅力ある職場づくり、子育て女性が働ける職場づくりに取り組み雇用創出を図る。あわせて、農商工連携による食を通じた雇用創出を図る。
事業内容
創業、異業種連携、多角経営化による新たな事業創出を喚起、支援する体制の構築、近畿大学工業高等専門学校との連携による人材育成等に取り組む。 女性の就労相談、セミナー開催、子育てに配慮した職場づくりの支援、女性が働きやすい環境づくりの取組を行う。 農産品の直売所の運営を起点に加工業者、レストラン等との農商工連携を推進する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画		雇用創出件数 15人 とれたて名張交流館売上金額 122,000千円 プロジェクト協力事業所数 10事業所

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
雇用創出件数 50人 とれたて名張交流館売上金額 127,000千円 プロジェクト協力事業所数 25事業所	雇用創出件数 50人 とれたて名張交流館売上金額 132,000千円 プロジェクト協力事業所数 25事業所	

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費		5,472千円	40,596千円	40,596千円	
内訳(千円)					
国・県支出金		2,736	20,298	20,298	
地方債					
その他()					
一般財源	(0)	0	2,736	20,298	20,298
人工数					
職員		0.29人	0.29人	0.29人	
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	(0千円)	0千円	2,204千円	2,204千円	2,204千円
①+②総事業費	(0千円)	0千円	7,676千円	42,800千円	42,800千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
近年、若者世代を中心に転出超過の傾向にあり、地域内での雇用創出、積極的な産業活動を促進する施策展開が必要である。	地方創生加速化交付金を活用し、創業、異業種連携、農商工連携など新たなチャレンジを促す事業環境の整備を図るとともに、民産学金官で連携する中、新たな雇用を生み出す取組を進める。加えて、子育て世帯の女性の就労支援や環境整備、幼少期からのふるさと学習の実施により、若い世代の定着及び転出抑制を図る。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	事業立ち上げ、新事業の育成等のための創業支援を行い、若者・女性・高齢者など多様な働き方を可能とする就業機会の確保を図る。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	民産学金官の連携による地域産業の活性化、人材育成の支援等を行う。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 名張市 まち・ひと・しごと創生総合戦略
平成28年度実施の調査・研究事業を生かし、平成29年度より新規事業創出の喚起や農商工連携の推進を進める。	